

平成26年度 新吉田地域ケアプラザ事業実績評価

	平成26年度について	平成27年度に向けて
地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・各職種の職性を活かし、幅広い分野の相談と対応を行っている。障害分野については、関係機関との連携を深め、相談者のニーズに沿った対応に努めている。 ・新羽地域ケアプラザの開所に伴い、新羽地区の引き継ぎをスムーズに行った。 ・認知症の方への対応として、認知症徘徊高齢者ネットワーク“さがしてネット”の対象地区を拡大。ケアプラザがその事務局を担い、メール配信による情報共有、模擬訓練を実施し、認知症の方の見守りネットワークの強化に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケアプラザ内の多職種が適宜情報共有をし、役割分担をしながら、内部の連携の下で業務に取り組んでいただきたい。その活動の中で、各々の職種の専門性を発揮し、支援の充実を図っていただきたい。 ・地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、区の三者で情報共有できる機会が四半期に一度と限られているため、情報の共有に遅延が生じないように、適宜開催内容等を見直していただきたい。 ・運営協議会においては、多くの委員の意見をお聞きし、施設の円滑な運営に努められたい。 ・「ひとつプラン港北」次期計画策定にあたり、区、区社会福祉協議会と一体となって、引き続き地域の支援をお願いしたい。
地域活動交流部門	<p>【福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社会福祉協議会や町内会の会議など、地域に積極的に向向いて収集した情報を、様々な媒体を活用して必要としている場所、人へ届けられるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で開催される会議、活動等にこれからも積極的に参加するなど、地域との関係づくりを深め、地域住民による福祉保健活動がさらに充実していくよう支援をお願いしたい。 ・自主企画事業において男性が参加しやすいような事業の取り組みを行っている。このような事業をきっかけに男性の社会参加が広がるようなしかけづくりにも期待したい。 ・引き続き、子育て、障害児者等に対しても支援の展開を図るためにも、人材発掘、地域のボランティア団体の横の繋がりを強化し、ネットワーク化や育成に取り組んでいただきたい。
	<p>【福祉保健活動団体等が活動する場の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用登録している福祉保健活動団体を自主企画事業等でのボランティア活動につなげる働きかけを行い、活動の場の拡大に寄与している。 ・子育て世代に向け子育て支援サロンとして場の提供に努めている。 	
	<p>【自主企画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のニーズに合わせ、幅広い分野で自主企画事業を行っている。特に障害分野では同じ法人が地域活動ホームを運営している強みを活かして事業に取り組んでいる。 	
	<p>【ボランティアの育成及びコーディネート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報において募集の工夫をしたり、自主企画事業と連動してボランティアの発掘、育成を目指すなどの努力をしている。幅広い分野からの人材がボランティアにつながることを期待できる。 ・他の地域ケアプラザの地域交流部門と連携し、障害分野のボランティア育成に取り組んでいる。 	

	平成26年度について	平成27年度に向けて
地域包括支援センター	【総合相談・支援】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケアプラザが丘の上にあるという立地から、窓口での相談対応だけでなく、訪問での相談対応にも柔軟に対応している。受けた相談に対しては、相談内容に合った機関や制度、サービスに繋いでいる。 ・例年と同様に、地域ケアプラザの広報紙の活用、町内会の会合及び民生委員児童委員協議会への出席等を通して、地域包括支援センターの相談窓口機能の周知を行い、新たな地域及び個別課題の把握と対応等に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一部の地区について、問題が深刻化してから初めて相談に至るというケースが見受けられる。支援を必要とする方が早期に地域包括支援センターに繋がることできるように、今後より一層包括の周知活動に努めていただきたい。さらに、その活動を通じて、地域住民からの信頼を高めていただくと共に、併せて相談窓口機能の強化を図ることを期待する。 ・区をはじめとした関係機関と情報を共有する機会を充実させ、連携体制の強化に力を注いでいただきたい。そして、今後もチームアプローチを要するケースに関しては、区をはじめとした関係機関と連携して、柔軟な役割分担のもとに迅速な支援をお願いしたい。
	【権利擁護】 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待事例や権利擁護が必要な事例について、区をはじめとした関係機関に繋ぐとともに、必要時には継続的に訪問する等の支援を行っている。 ・例年同様に、行政書士による無料相談会を地域向けに実施するとともに、成年後見制度の活用に関する相談に対応している。 ・認知症の方への対応として、地域や企業向けに認知症サポーター養成講座及び地区の福祉講座を開催。さらに、今年度から介護者のつどいを定期開催し、介護者への支援を強化している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待事例や権利擁護が必要な事例について、早期の段階で状況を改善することができるように、積極的に支援を展開していただきたい。さらに、今後は問題の発生予防についても力を注いでいただき、その一つの取り組みとして成年後見制度における親族申立ての支援をはじめとした権利擁護に関する支援を充実させていただきたい。 ・引き続き認知症の啓発活動に力を注いでいただき、認知症の方が継続して地域で生活できる環境づくりを行っていただきたい。そして、その情報については区をはじめとした関係機関と共有できるようにしていただきたい。 ・今後も介護者のつどいを定期的に開催していただき、介護者自身の生活の充実、精神的サポートを図るとともに、介護者と要介護高齢者双方の権利擁護に繋げていただきたい。
	【介護予防ケアマネジメント】 <ul style="list-style-type: none"> ・把握された二次予防対象者を教室等へ繋ぎ、支援に努めた。 ・ケアマネジャーと連携し、適切なケアマネジメントができるよう支援している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、二次予防・介護予防支援対象者の把握と支援に取り組み、主体的活動、社会参加などの自立支援に繋がるようお願いしたい。
	【包括的・継続的ケアマネジメント支援】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域のケアマネジャーとの勉強会を定期的に開催し、ケアマネジメントの質の向上のために支援している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のネットワークで把握した情報を積極的にケアマネジャーに伝達する工夫の検討をお願いしたい。 ・今後もケアマネジャー等からの相談に対応するとともに、積極的に働きかけをしていただき、支援者の知識の向上及び顔が見える関係性の強化を図っていただきたい。
	【多職種協働による地域包括支援ネットワーク】 <ul style="list-style-type: none"> ・12月に個別ケース地域ケア会議を開催。多職種の専門的視点を交えてケース検討することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も個別ケースの地域ケア会議を開催していただき、個別支援の充実を図るとともに、包括レベルの地域ケア会議に発展させ、地域住民と共に地域づくりに取り組んでいただきたい。
地域活動交流・地域包括支援センター	【介護予防事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・区と協働し、地区関係者、関係機関と丁寧に調整を行い、元気づくりステーションの活動を支援している。 ・地域の人材を生かし、地域活動交流と協働して対象特性に配慮した介護予防教室を開催している。また、地域の自主活動団体に出向き、介護予防の普及啓発と活動支援に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・元気づくりステーションは、参加者による自主的な活動と安定した運営に向けて、引き続き支援をお願いしたい。 ・多数ある地域の自主活動団体間の交流を深め、息の長い活動となるよう支援すること、介護予防に取り組む団体やサロンが高齢者が歩いて通える範囲に平等に存在するよう地域と連携して取り組んでいただきたい。

平成26年度 篠原地域ケアプラザ事業実績評価

	平成26年度について	平成27年度に向けて
地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題を把握し、地域活動交流部門と地域包括支援センター、地域が連携してその解決に向けた取組が行われている。 ・身近な相談窓口としての地域ケアプラザの周知に力を入れ、その成果が徐々に現れてきている。 ・高齢者だけでなく様々な分野の地域課題について行政と情報を共有し、検討する体制ができています。要保護児童対策地域協議会のエリア別連絡会開催に向けては、日ごろの地域関係機関との連携を生かし区と協働して実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援や地域活動から把握した地域課題を、行政や区社会福祉協議会等と共有し、効果的な事業展開を行うことを期待する。 ・これまで以上に地域に対する施設の周知を行い、身近な相談窓口としての機能を高めてほしい。 ・「ひとつプラン港北」次期計画策定にあたり、区、区社会福祉協議会と一体となって、引き続き地域の支援をお願いしたい。
地域活動交流部門	<p>【福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の福祉保健活動団体と良好な関係を築き、様々な地域活動に関わることによって、地域状況に関する情報をよく把握している。 ・広報紙に地域福祉保健計画や子育て関連の事業、ボランティア紹介などを掲載し、幅広い世代が利用できる地域ケアプラザのPRにつながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手の育成や活動団体支援に力を入れることにより、地域活動が安定して継続していくことを期待する。 ・地域ネットワークの構築や自主企画事業を通じて、地域課題や住民ニーズに応えるような地域支援を行ってほしい。
	<p>【福祉保健活動団体等が活動する場の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・併設の地区センターと役割を分担し、福祉保健活動団体が安定して活動を行うための支援ができています。 ・定期的に行っている高齢者や子育てサロンには多くの参加者があり、地域に定着していることがうかがわれる。 	
	<p>【自主企画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業を通じて子育て支援に力を入れるなど、地域のニーズを捉えた事業展開を行っている。地域との連携もよくとられている。 ・父子を対象にした事業では、地域で活動している人材を上手に活用し、活発な事業展開を行っている。 ・障害児の放課後余暇支援に課題認識を持ち、事業に取り組んでいる。 	
	<p>【ボランティアの育成及びコーディネート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉保健計画の推進事業や自主事業を通じて、ボランティアを育成し、継続的な活動につなげるための工夫がされている。 ・他の地域ケアプラザの地域交流部門と連携し、障害分野のボランティア育成に取り組んでいる。 	

	平成26年度について	平成27年度に向けて
地域包括支援センター	【総合相談・支援】 <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業に積極的に取り組み、孤立予防に尽力している。 ・包括カードに職員の写真があり、写真の職員を目指していらっしゃる高齢者もあり、顔の見える関係性という意味で一定の成果が上がっている。 ・困難ケースに関して、区や介護事業所等と合同で相談対応を行い、円滑な相談支援体制が構築しつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例年取り組んでいただいている事業は、一定の成果が出ていることから、今後も継続していただきたい。 ・包括に相談される事例として、高齢者の課題だけでなく、それを取り巻く家族の課題に焦点が当たる事も多いので、対象者だけでなく、より包括的な視点によるケースアセスメントと支援をお願いしたい。
	【権利擁護】 <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な成年後見、消費者被害に関する相談会や出前講座の調整等を行い、地域住民に対して、積極的に啓発活動を行っている。また、成年後見の親族申立に関しても、専門機関と協働しながら、積極的に支援している。 ・家族の虐待と思しき対応について、家族に寄り添い行動変化を促すなど、丁寧に個別対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の権利擁護の啓発は今後も積極的に継続していただきたい。また、親族による成年後見人申立も増加している事から、申立支援の継続をお願いしたい。 ・認知症に対する家族の理解不足による課題が近年増加している中で、協力医に依頼などし、病状に関する理解を対象家族にお話ししていただきたい。
	【介護予防ケアマネジメント】 <ul style="list-style-type: none"> ・ミニデイサービスや老人会等での介護予防に関する出前講座で基本チェックリストを実施し、二次予防対象者の把握に努めた。二次予防対象者については、健康づくりや日常生活上のアドバイス等介護予防の働きかけを行った。 ・適切なケアマネジメントができるよう、職員の研修や事例検討会等の場を設けている。 ・委託ケースについては、随時、支援やプランに対するアドバイスを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防講座や元気づくりステーションなどで二次予防対象者の把握を行うとともに、地区活動やインフォーマルサービス訪問型介護予防事業等へのアプローチを根気よくお願いしたい。 ・引き続き、二次予防対象者・要支援者の主体的活動、社会参加など自立支援につながるフォローをお願いしたい。
	【包括的・継続的ケアマネジメント支援】 <ul style="list-style-type: none"> ・介護者のつどいにおいて、率先して認知症の理解、対応についての理解を啓発し、かつ情報共有の場として機能している。また、新規の参加者が安心して話し合いに参加できる雰囲気になっている。 ・地域への出前講座等を実施し、地域に介護とは何か、啓発している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での活動は十分に行っていることから、現状を継続しつつ、地域が抱える課題を把握し、解決に向けた支援を行っていただきたい。 ・上記につなげて、課題解決に向けた地域ケア会議を率先して開催し、専門機関及び地域の皆様と共に、課題解決に向けた取り組みを行っていただきたい。
	【多職種協働による地域包括支援ネットワーク】 <ul style="list-style-type: none"> ・区域で開催している医療・介護の連携の会議に積極的に参加し、多職種連携の研修会の実施に尽力している。また、単独でもケアマネジャー向け研修を積極的に実施し、包括としての役目を果たしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療介護の連携は今後より発展していくことが想定されるため、地域の医療機関とも連携し、話し合いの場を設けていただきたい。
地域活動交流・地域包括支援センター	【介護予防事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防支援普及強化事業を実施し、会場の開拓や、保健活動推進員等の地区指導者との連携を深め、地域の中で介護予防を広める取り組みができた。 ・篠原地区で継続実施している2か所の元気づくりステーションには、講師派遣、課題共有、人材育成など自主的運営に向け支援を行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防普及強化事業は、自主化を目指し元気づくりステーション等の活動として介護予防に効果的な拠点となり得るよう引き続き支援をお願いしたい。 ・継続している2か所の元気づくりステーションは、運営上の課題への対応や自主運営の定着に向け、区と協働し支援の継続をお願いしたい。

平成26年度 高田地域ケアプラザ事業実績評価

	平成26年度について	平成27年度に向けて
地域 ケア プラ ザ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターと地域活動交流部門が連携して各種相談への対応や事業実施、地域活動支援を実践している。地域の拠点として住民や関係機関からの信頼も厚いことがうかがわれる。 ・高齢者の相談だけでなく、家族支援の視点を持って、個別相談の支援ができています。 ・毎月の定例カンファレンスで、区社会福祉協議会、区とも随時情報共有することができており、協力して地域支援に取り組んでいる。 ・所管内にある親と子のつどいのひろば「たかたんのおうち」の事務局と連携し地域の子育て支援を充実させるためのネットワーク構築に取り組んでいる。また、障害児の余暇支援事業や学校との関係づくりにも積極的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、幅広い相談に対応し、身近な相談窓口として地域に浸透して行ってほしい。4職種で相談内容を共有し、多様な支援方法を検討していただきたい。 ・相談業務等から把握した地域課題の解決に向け、地域包括支援センターと地域交流部門が連携して地域の資源づくりやネットワーク構築、事業展開を行って行ってほしい。 ・「ひっとプラン港北」次期計画策定にあたり、区、区社会福祉協議会と一体となって、引き続き地域の支援をお願いしたい。
地域 活動 交流 部門	<p>【福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の福祉保健活動団体や学校等と良好な関係を築き、様々な地域活動に関わることによって、地域状況に関する情報をよく把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで同様、地域の人材や活動団体、学校、施設等とのつながりを活かし、地域ネットワーク構築に向けた積極的な取組を期待する。 ・障害児とその家族の支援について、行政や関係機関と連携して今後も力を入れて取り組んで行ってほしい。
	<p>【福祉保健活動団体等が活動する場の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の重要な活動拠点として認知されており、また利用団体が地域活動に参加するきっかけづくりがされている。 	
	<p>【自主企画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケアプラザに馴染のない住民が参加しやすいよう、テーマや実施方法に工夫がみられる。 ・事業実施にあたっては、地域の関係団体からも協力を得ており、住民との協働を重視する姿勢が評価できる。 	
	<p>【ボランティアの育成及びコーディネート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的開催されている地区ボランティア連絡会と連携して、個人ボランティアと既存の活動団体とをつなぐ等、ボランティア同士のネットワーク化に努めている。 ・他の地域ケアプラザの地域交流部門と連携し、障害分野のボランティア育成に取り組んでいる。 	

	平成26年度について	平成27年度に向けて
地域包括支援センター	【総合相談・支援】 <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員との連携ができており、相談にも迅速に対応し、一緒に訪問することができている。 ・高齢の両親と障害の子ども世帯が増えているが、世帯としての視点を持った支援ができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も民生委員、ケアマネジャー、医療機関との関係づくりに取り組み、相談しやすい関係づくりの構築を推進していただきたい。 ・今後も3職種が情報を共有し、専門性を活かした様々な視点を持ってケース対応にも取り組んでいただきたい。
	【権利擁護】 <ul style="list-style-type: none"> ・介護者のつどいは参加者の満足度が高く、介護負担感の軽減に直接的に結びついている。 ・相談者に対する後見申立の支援を適切に行っている。 ・認知症サポーター養成講座を、マンション住民や学校児童など新たな層に向けて行うなど、地域への普及啓発に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護者のつどいは、新規参加者も参加しやすい雰囲気づくりに努め、広く活用してもらえるように取り組んでいただきたい。 ・今後も地域住民への認知症の普及啓発に取り組んでいただきたい。
	【介護予防ケアマネジメント】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケアプラザで高齢者が集まる際に、基本チェックリストを配付し、二次予防対象者の把握に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケアプラザに來られない高齢者に対しても、二次予防対象者の把握に取り組んでいただきたい。 ・予防プランを委託するケアマネジャーに対して今後も継続して支援していただきたい。
	【包括的・継続的ケアマネジメント支援】 <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員児童委員協議会に毎回出席し、こまめな情報共有を行い、民生委員と顔が見える関係、信頼関係ができている。 ・エリア内のケアマネジャーに対し、研修を行っている。 ・個別支援においても地域のボランティアを活用するなど、インフォーマルサービスとの橋渡しができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のネットワークで把握した情報を積極的にケアマネジャーに伝達する工夫の検討をお願いしたい。 ・今後もケアマネジャー等からの相談に対応すると共に、積極的に働きかけをし、支援者の知識の向上及び顔が見える関係性の強化を図っていただきたい。
	【多職種協働による地域包括支援ネットワーク】 <ul style="list-style-type: none"> ・9月に地域住民、医療機関等を交えた地域ケア会議を実施できた。その中で、地域の見守り体制の構築に向けて、地域住民も含めた関係者で情報共有ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別レベル地域ケア会議を積極的に活用し、包括レベルの地域ケア会議を開催していただきたい。 ・包括レベル地域ケア会議では、高田地区の地域課題を検討し、必要な資源開発やネットワークの構築といった地域づくりに取り組んでいただきたい。
地域活動交流・地域包括支援センター	【介護予防事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・高田地区のウォーキンググループの、来年度以降の取り組みについて整理できた。 ・ウォーキング講座OB会から元気づくりステーション「たかた歩こう会」を立ち上げ、継続的に支援を行っている。 ・ステップ講座など、新しい介護予防にも取り組んでいる。 ・町内会や地区社会福祉協議会との防災やひっとプランの取り組みから介護予防の可能性を模索するなど、多角的な視点から介護予防事業について検討できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のサロンや介護予防体操教室などの実施に向け、今まで活用していなかった場所の活用検討を含め、積極的に取り組んでいただきたい。 ・今後も町内会や地区社会福祉協議会とも協力し、多角的な視点からの介護予防の可能性の模索を、地域活動交流部門と地域包括支援センターで情報共有しながら、進めていただきたい。

平成26年度 下田地域ケアプラザ事業実績評価

	平成26年度について	平成27年度に向けて
地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター、地域活動交流部門が、それぞれの専門性や経験を活かした関わりを継続して行っている。 ・多くの自主企画事業やOB会支援における4職種の密な連携ができています。 ・利用団体との情報交換や地域の様々な会議の場で、積極的に地域課題の把握に努めている。 ・同じ地区を担当する日吉本町地域ケアプラザとは地域課題や支援の方向性がしっかりと共有されており、適宜役割を分担しながら一体的に地域支援にあたっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き「相談しやすい雰囲気作り」を心がけ、幅広い分野の相談と支援、情報提供をお願いしたい。 ・4職種が密に連携し、地域のニーズを把握、関係機関とも連携しながら個別、団体支援に取り組んでいただきたい。 ・「ひとつプラン港北」次期計画策定にあたり、区、区社会福祉協議会と一体となって、引き続き地域の支援をお願いしたい。
地域活動交流部門	【福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域ニーズの把握に努め、広報紙、ブログ等、幅広い世代への情報発信を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケアプラザの事業参加者からの意見聴取や課題把握を行い、また、幅広い分野の地域のニーズも踏まえた事業展開をお願いしたい。 ・長年継続している自主企画事業、各団体、OB会等への後方支援からみえる課題を踏まえ、新たな人材発掘、育成へと展開できるよう検討をお願いしたい。
	【福祉保健活動団体等が活動する場の提供】 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉保健活動団体にはより優先的に貸館の確保を行い、また、団体代表者との情報交換等により、活動意欲向上に努めている。 ・子育て世代への場の提供を積極的に進めている。 	
	【自主企画事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域のニーズ、課題把握に努めた事業展開や関係機関とも連携した取り組みを行っている。 	
	【ボランティアの育成及びコーディネート】 <ul style="list-style-type: none"> ・利用団体と協働で自主企画事業を開催すると共に、各団体の特技を活かした活動の場を広げるなどのコーディネート等、活動意欲の向上につながる支援が行われている。 ・他の地域ケアプラザの地域交流部門と連携し、障害分野のボランティア育成に取り組んでいる。 ・子育て支援事業では自ら支援を提供できる世代の特徴を生かし仲間作りや自主グループ化を促し人材育成へのつながりを果たしている。 	

	平成26年度について	平成27年度に向けて
地域包括支援センター	【総合相談・支援】 <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関や介護事業所、民生委員等から地域包括支援センターへの相談件数が増加しているが、これは地域の身近な相談窓口として広く認知され関係性が構築されている結果と思われる。 ・個々の相談に対し、早期的・予防的に介入し、継続的なフォローが行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き地域と顔の見える関係づくりに取り組み、地域の身近な相談窓口として幅広い相談に応じると共に、必要な支援や事業展開を行っていただきたい。
	【権利擁護】 <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に介護者のつどいを開催し、参加者間でのピアカウンセリングや職員による継続的なモニタリングが行われており、介護を担う家族のストレスや不安の軽減・虐待予防に寄与しているものと考えられる。また、既存の参加者だけでなく新規加入の参加者が継続参加できている。さらに、介護者の会であるぶどうの会の会員が定期的に参加し、連携ができている。 ・活発に認知症サポーター養成講座を開催した。また、地域のキャラバンメイトが主体的に活動を行う支援が行われている。 ・後見申し立て支援が必要な方に対して、必要な機関への調整や申し立て書類作成支援が行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護者のつどいについては、家族の息抜きや情報交換の場になるよう、今後も継続的に開催していただきたい。 ・認知症サポーター養成講座については、キャラバンメイトが継続的に地域で活動できるよう支援を行っていただきたい。 ・高齢者や認知症患者が増加していく中で、今後も成年後見制度等が必要な方に対して、制度の説明や申し立て手続きの支援、普及啓発等を専門機関とも協力し行っていただきたい。
	【介護予防ケアマネジメント】 <ul style="list-style-type: none"> ・二次予防対象者の把握については健康講座や個別相談等を通じて積極的にチェックリストを実施し、新規対象者の把握に努めている。健康講座参加者に対しては、継続的に介護予防活動が行えるよう工夫をしている。 ・地域包括支援センター・地域活動交流部門の各職種間で情報共有や連携が行えており、相談から問題解決まで多角的な視点を持つことを心がけ支援を行っている。 ・地域ケアプラザのサークル参加者についても地域交流部門と連携し、必要時早期に対応ができる体制を構築して支援を行っている。 ・委託ケースについては必要時に担当者会議に出席する等の支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次予防対象者の把握や訪問、見守り等丁寧に対応していただいている。今後も地域ケアプラザ全体や各事業所と情報共有や連携を継続し、介護予防アセスメントの取り組みに尽力いただきたい。
	【包括的・継続的ケアマネジメント支援】 <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員児童委員協議会等の地域の関係会議やイベントに、地域包括支援センター・地域交流部門の担当で連携して参加しており、認知症や介護保険等、地域の要望に合わせた講座の実施をしている。 ・医療・介護の連携については、昨年から引き続き高齢者支援ネットワークの事務的業務を担うだけでなく、世話人等の会議に参加し、意見するなどネットワークを支えている。また、研修会での意見集約から課題を抽出し、来年度の課題解決に向けた取り組みにもつながっている。 ・ケアマネジャーからの相談には随時対応し、助言や情報提供、同行訪問等が適時適切に行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のネットワークで把握した情報を積極的にケアマネジャーに伝達する工夫の検討をお願いしたい。 ・今後もケアマネジャー等からの相談に対応するとともに、積極的に働きかけをしていただき、支援者の知識の向上及び顔が見える関係性の強化を図っていただきたい。
	【多職種協働による地域包括支援ネットワーク】 <ul style="list-style-type: none"> ・個別ケース地域ケア会議を計4回実施、包括レベル地域ケア会議計1回開催。対象者の近隣住民を含めた地域の関係者や関連機関との連携を促進し、地域づくりに積極的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も個別ケースや包括レベルの地域ケア会議を開催し、個別課題や地域課題の解決や、関係機関との連携促進に取り組み、地域づくりにつなげていただきたい。
地域活動交流・地域包括支援センター	【介護予防事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民からのニーズにフレキシブルに対応した内容の介護予防教室が運営されている。 ・元気づくりステーションについては、積極的に包括職員が活動の場に参加し、後方支援を行っている。運営者や参加者からの相談に対応することで関係性が構築されている。 ・必要時に保健医療福祉サービスの情報提供や調整が行えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も地域住民からのニーズを反映した介護予防教室の運営を行っていただきたい。 ・元気づくりステーションについては現在立ち上がっている2か所が自主的に活動を継続できるよう引き続き後方支援を行っていただきたい。 ・高齢者が歩いて行ける範囲で介護予防活動が行えるよう、マンションの集会場などに出向いて行う健康講座を継続していただきたい。 ・地域の支援者の発掘や育成についても継続していただきたい。

平成26年度 大豆戸地域ケアプラザ事業実績評価

	平成26年度について	平成27年度に向けて
地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野において、積極的に地域に出向いたり、関係機関との連携強化により適切な個別、団体支援に繋がっている。 ・4職種が連携を密にし専門性を活かした事業展開を行っている。 ・地域に出向くことで、タイムリーな情報発信、顔の見える関係をより強くし、ネットワーク構築に繋がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地域、関係機関との連携により、そこで把握した地域課題やニーズを活かした事業展開をお願いしたい。 ・「ひっとプラン港北」次期計画策定にあたり、区、区社会福祉協議会と一体となって、引き続き地域の支援をお願いしたい。
地域活動交流部門	【福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供】 <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い分野において地域の課題、ニーズを把握するために、会議やイベントに参加し、地域とのつながりを強めている。 ・地域子育て支援拠点と連携し情報収集や提供に広がりを持たせている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、把握した地域のニーズ、社会資源等、情報を整理、活用した支援、事業展開をお願いしたい。 ・個々の特技が発揮できるような場の提供、ボランティア同士の連携、幅広い世代がボランティア参加のきっかけとなるような取り組みに期待する。また、団塊の世代が一層、地域参加しやすい場づくりもお願いしたい。
	【福祉保健活動団体等が活動する場の提供】 <ul style="list-style-type: none"> ・団体の活動発表、交流、PRの場の提供により、活動意欲の向上に繋がっている。 	
	【自主企画事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・異なる世代や様々な参加者が共に交流、活動につながるような新たな事業展開を行っている。 ・関係機関や団体と連携し障害児の余暇支援を主催している。 ・子育て支援では保護者が相談しやすい環境づくりを行い、子どもと高齢者が交流できる機会の提供など工夫をこらした取り組みをしている。 	
	【ボランティアの育成及びコーディネート】 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア同士の交流、連携促進のための場を設け、育成に努めている。 ・他の地域ケアプラザの地域交流部門と連携し、障害分野のボランティア育成に取り組んでいる。 	

	平成26年度について	平成27年度に向けて
地域包括支援センター	【総合相談・支援】 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に対するさまざまな相談を受け止め、相談内容を的確に把握した上で適切な情報を提供し、事業、制度、関係機関につなげられている。 ・包括、区でフォローしているケースについて定例カンファレンスで共有するだけでなく、ケースの状況が変化した時などは適宜連絡を取り合い支援方針の確認ができています。 ・緊急度の高いケースについて、速やかに訪問し状況把握した上で、必要な制度、関係機関につなげられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも関係機関との連携を深め、多様化する地域課題を解決する柱のひとつとしての活動を担ってほしい。相談や個別ケースの対応等から地域ニーズの発掘と分析を深め、アウトリーチを含めた支援体制構築の一層の強化をお願いしたい。 ・地域の相談拠点として、地域との交流の中から顔の見える関係作りをさらに進め、啓発活動がますます発展していくよう期待する。 ・個別支援は今後も緊急性が高く、複雑化した事例の対応を求められていくことが予想されるため、引き続き区との連携を強化し、現在の体制を維持・継続できるようお願いしたい。
	【権利擁護】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民向けに講座を開催し、権利擁護や契約関係について広く専門職からアドバイスを受けられる機会を設定している。 ・権利擁護の相談について、相談者が主体的に問題解決ができるように相談、アドバイスができています。 ・虐待事例については養護者支援のための研修に参加し、認知症支援についてもサポーター養成講座を地域に向けて実施し、多数の参加者に認知症支援の啓発を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も権利擁護の相談は増えていくので、定期的な相談会等の開催など、地域住民への普及啓発を行ってほしい。 ・虐待については職員の研修と居宅介護事業所などの対応力の向上のための支援を引き続きお願いしたい。また、養護者支援の視点を持ち、役割分担をしながらケースに関われるよう、引き続き区との連携をお願いしたい。 ・認知症支援は介護者支援とともに、地域のネットワークを活かして多分野の対象者にサポーター養成講座を開催するなど、さらなる啓発に取り組んでいただきたい。
	【介護予防ケアマネジメント】 <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度把握した二次予防事業対象者に向けて口腔、栄養の連続講座を開催し、参加者が介護予防に取り組む意識、行動変容のきっかけとなっている。 ・スクエアステップのリーダー講座を開催し、地域で高齢者に関わる人たちがそれぞれの場で介護予防の活動が行えるように支援している。 ・認知症予防講座(スリーA講座)を開催。全10回の第6回目からは認知症の当事者も参加し、地域住民が認知症の方へイメージや関わりかたなど学べる講座となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度行われる認知症予防の事業と合わせて、虐待予防の啓発を行っていただきたい。 ・今年度開催される認知症カフェを発展させ、次年度以降は気軽に認知症の当事者、家族が集まれる場を継続的に開催してほしい。認知症予防講座に参加した方や地域の方が主体で運営できるよう支援していただきたい。
	【包括的・継続的ケアマネジメント支援】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民への研修を関係機関と協力して行い、啓発活動を行っていた。関係機関や医療機関と連携し、ケアマネジメント支援を行っており、26年度の目標は達成されていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、関係機関と連携し、個別課題や地域課題の解決に取り組んでいただきたい。また、地域のケアマネジャーの研修を充実させてほしい。
	【多職種協働による地域包括支援ネットワーク】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議や個別のケース会議を行い、関係機関や医療機関などとのネットワークを行っている。26年度の目標は達成できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・27年度も今年度同様の支援を継続していただきたい。また、個別ケースや包括レベルの地域ケア会議の開催を今後も行う中で、地域のネットワークのさらなる構築を行ってほしい。
	【介護予防事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・大倉山元気づくりステーションは地域住民が主体的に運営できるように継続的に支援し適宜アドバイスができています。 ・元気づくりステーションきくについては、立ち上げの話し合いから運営について助言を行っている。また運動指導者に対して包括で行われている介護予防の体操等を周知し、活動の内容の充実に繋がっている。 ・ロコモティブシンドローム予防のための連続講座を開催し、参加者が継続的に介護予防に取り組むことができるようにしている。 ・男性を対象に介護予防のための連続講座を開催、口腔、栄養、介護予防だけでなく、今後地域の担い手として活動できるように内容を工夫するなど総合的に介護予防が行える内容となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の元気づくりステーションは、自主活動期となるため参加者による自主的な活動と安定した運営に向けて引き続き支援をお願いしたい。 ・介護予防の講座受講者が地域で活動できるように助言等の支援を行ってほしい。 ・地域で行われている介護予防の体操やサロン以外に、高齢者が継続的に参加できる場の発掘をお願いしたい。
地域活動交流・地域包括支援センター		

平成26年度 樽町地域ケアプラザ事業実績評価

	平成26年度について	平成27年度に向けて
地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・広い担当エリアを抱えながらも、4職種が連携し、地域特性に応じたきめ細やかに支援を行っている。施設内での情報共有もできしており、それぞれの事業について連携する体制ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地域包括支援センターと地域活動交流部門が連携し、各地区の特性に応じた柔軟な支援をお願いしたい。 ・「ひっとプラン港北」次期計画策定にあたり、区、区社会福祉協議会と一体となって、引き続き地域の支援をお願いしたい。
地域活動交流部門	【福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の福祉保健活動団体と良好な関係を築き、様々な地域活動に関わることによって、地域状況に関する情報をよく把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も地域の福祉保健活動団体と良好な関係を維持し、地域のニーズにあわせた事業の展開を期待する。 ・施設から遠い地域の支援については、地域包括支援センターと連携し、引き続き柔軟な支援を行ってほしい。
	【福祉保健活動団体等が活動する場の提供】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の重要な活動拠点として認知されており、利用団体の支援もきめ細かに行っている。 	
	【自主企画事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・自主活動グループの支援も含め、高齢者、子育て、障害児者と幅広い分野において地域と連携して事業実施を行っている。施設から遠方となる地区への支援方法もよく検討されている。 ・障害児余暇支援事業については、地域組織や関係機関と連携し、当事者ニーズに応えるため、担当エリアの枠にこだわらず積極的な事業展開を行っている。 	
	【ボランティアの育成及びコーディネート】 <ul style="list-style-type: none"> ・近隣学校と連携した学生向けの福祉理解の啓発等により、次世代の人材育成に寄与している。 自主企画事業を通じた人材育成や、自主グループ化支援に積極的に取り組んでおり、支援の広がりがある。 ・他の地域ケアプラザの地域交流部門と連携し、障害分野のボランティア育成に取り組んでいる。 	

	平成26年度について	平成27年度に向けて
地域包括支援センター	<p>【総合相談・支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域のエリアを担当しているため、相談件数も多いが、相談内容に関する情報を、地域包括支援センター職員がすぐに共有できるよう工夫されている。 ・各地区の民生委員児童委員協議会定例会に出席したり、エリア内のケアマネジャーの事例検討会を定期的に開催、また民生委員児童委員協議会とケアマネジャーとの懇談会を開催するなど、関係者同士の連携強化に向けて支援がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も相談件数は増えると予想されるが、各地区民生委員児童委員協議会定例会への参加や、エリア内のケアマネジャーの事例検討会、民生委員児童委員協議会とケアマネジャーとの懇談会などを継続して行い、早期に相談につながるよう、また相談対応がスムーズに出来るような体制を引き続きとってもらいたい。また、地域包括支援センター内での相談ケースの共有についても継続してもらいたい。
	<p>【権利擁護】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見が必要な事例について、関係機関と粘り強く連携を重ね、適時多職種を交えたカンファレンスを実施し、制度利用につなげることができた。 ・介護者交流会を毎月開催することができた。今年度は話しやすい雰囲気づくりや、参加者の意見を取り入れたプログラムの実施により、継続参加者が増えている。 ・認知症の普及啓発については、担当するエリア内で「キャラバンメイトの集い」を開催し、キャラバンメイトが自主的にサポーター養成講座を開催できるような仕組み作りを行っている。実際、今年度はキャラバンメイトの働きかけで、老人会を対象に養成講座を開催することができた。また中学校では生徒が企画した全校生徒対象のサポーター養成講座を行う事ができた。銀行からの講座開催依頼も増えてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター社会福祉士が中心となり、権利擁護の必要な事例への対応や、成年後見制度等の普及についても引き続き力を入れて取り組んでいただきたい。 ・介護者交流会については、高齢者虐待防止のためにも必要な事業と思われるため、開催を継続してほしい。また処遇困難ケースや虐待が疑われる事例については、引き続き区や関係機関と連携し役割分担しながら一緒に支援していただきたい。 ・認知症の正しい理解の促進は今後、より必要になってくると思われる。エリア内でのキャラバンメイトの集いを継続し、地域包括支援センターだけでなく、キャラバンメイト独自でも普及啓発できるような仕組み作りを行っていただきたい。また中学校や銀行、地域でのサポーター養成講座が継続して開催できるよう、引き続き働きかけを行ってほしい。
	<p>【介護予防ケアマネジメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター主催の介護予防講座を開催する際には、参加者に事前にチェックリストを送付し、当日持参してもらうように工夫されている。その結果で二次予防対象者の把握や気になる方への声掛けがされている。また相談対応時に介護保険申請に至らない場合は、インフォーマル情報の情報提供がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度もできるだけチェックリストを実施し、二次予防対象者の把握に努めてもらいたい。またインフォーマル情報の更新とともに、情報提供を引き続き行っていただきたい。
	<p>【包括的・継続的ケアマネジメント支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリア内の5つの地区民生委員児童委員協議会連絡会に継続的に出席し、適時介護保険制度の説明や、インフォーマル情報の説明が行われている。また地域ケアプラザの広報紙にて地域住民向けに介護保険についての説明を行っている。 ・民生児童委員とケアマネジャーとが顔の見える関係になることを目的とし、今年度は2地区で民生児童委員とケアマネジャーの交流会を開催した。またエリア内のケアマネジャー向けに事例検討会を3回企画しているが、心理職の助言者に来てもらうことで、より充実した検討会となっており、参加者が増加してきている。そのような中でインフォーマル情報などの情報提供もなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エリア内5地区民生委員児童委員協議会連絡会への継続的な出席は多忙な中大変なことと思われるが、引き続き出席し、連携を密にしていきたい。 ・民生児童委員とケアマネジャーとの顔の見える関係をつくるために、年2地区程度を目標に交流会を継続していただきたい。 ・多くの問題を抱える事例が増えていることに対応するためにも、ケアマネジャー対象の事例検討会を継続して行い、情報提供や連携の強化を図るとともに、ケアマネジャー自身のスキルアップにつなげてほしい。
	<p>【多職種協働による地域包括支援ネットワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別ケースの地域ケア会議を2回開催した。開催にあたっては、参加者の選定やどのように進行するか等について区と何度も話し合いを重ねて開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度は包括レベル地域ケア会議を開催予定だが、エリアが広く、それぞれのエリアで課題が異なるため、どのような形で開催するか、区と話し合いを重ね検討していただきたい。
地域活動交流・地域包括支援センター	<p>【介護予防事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域アセスメントの結果、介護予防の取り組みが少ない綱島西地区において事業を実施することができたが、会場を地区内で探すことができず、事業継続に至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・綱島西地区においては引き続き継続的な介護予防の活動ができるような支援をしてもらいたい。軽度の認知症の方の行き場がなかなか無いため、そのような方も参加できるような介護予防教室の開催を期待する。 ・元気づくりステーション2か所の支援については、引き続き区と協力しながら行っていただくとともに、新たな立ち上げに向けた働きかけも行ってほしい。

平成26年度 城郷小机地域ケアプラザ事業実績評価

	平成26年度について	平成27年度に向けて
地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い分野への対応と支援を行っている。中でも障がい児関連のボランティアコーディネートにより、ボランティア側の負担の軽減につながっている。 地区の自主活動に状況の把握、変化に応じて4職種が情報共有、役割分担しながら後方支援に努めている。 平成23～25年度横浜市の地域見守りネットワーク構築支援事業の取り組みについて、引き続き地域住民の主体性を大切にしながら地域ケアプラザが後方支援を行っている。そのため、地域に見守り活動と意識が継続されている。 地域包括支援センターの3職種は地域からの信頼も厚く、継続的な支援が行なえている。 毎月開催する定例ケアカンファレンスでは、区社会福祉協議会・区3課及び地域ケアプラザ4職種間の情報共有を積極的に行っており、地域内のそれぞれの事業についても連携する体制ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、4職種の連携を密にし、地域のニーズに合った、自主企画事業、自主グループ支援等をお願いしたい。 引き続き地域住民の視点を取り入れて、各地区の見守り活動が定着しネットワークの構築が図れるよう支援をお願いしたい。 日頃からの相談・支援、見守り活動、介護予防・権利擁護・認知症関係事業や地域ケア会議等から見えてきた地域の課題とニーズに基づいた効果的な事業展開を期待している。 「ひとつプラン港北」次期計画策定にあたり、区、区社会福祉協議会と一体となって、引き続き地域の支援をお願いしたい。
地域活動交流部門	<p>【福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害分野の活動団体の課題を把握し、関係機関の協力も得、解決へと成果をあげている。 広報の場所を広げるなどの工夫により、新たな参加者に結びついている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、福祉保健活動団体と情報交換を密に行い、課題を共有、活動団体と共に解決していくなどの後方支援をお願いしたい。 地域のニーズに合った事業展開を期待したい。 引き続き、小中学生の福祉教育などを通じ、ボランティアの実践に結びつくようなきっかけとなる取り組みに期待する。
	<p>【福祉保健活動団体等が活動する場の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録の活動団体の活動内容やニーズを把握し、積極的なボランティアコーディネートにより新たな活動の場の提供、新規参加者との交流へと展開できている。 	
	<p>【自主企画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て中の親支援を主任児童委員、子育て支援者とも連携しながら継続できている。 中学校との良好な関係を維持し、参加しやすいボランティア環境づくりに努めている。 	
	<p>【ボランティアの育成及びコーディネート】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な事業、団体支援の中でボランティアコーディネート、ボランティア意欲向上に向けた支援を積極的に行っている。 他の地域ケアプラザの地域交流部門と連携し、障害分野のボランティア育成に取り組んでいる。 障害児の保育ボランティアの必要性を地域課題としてとらえ、あらゆる関係機関をと連携しながら課題解決に向けた積極的な取組を展開している。 	

	平成26年度について	平成27年度に向けて
地域包括支援センター	【総合相談・支援】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の民生児童委員定例会では、毎月テーマをもった研修を企画・開催し活動の支援・連携を図っている。 ・日頃の活動から地域と顔の見える関係を構築し、相談しやすい関係をつくり、インフォーマルサービス等地域との連携を図っている。 ・相談からの確かなニーズ把握と迅速なサービス等調整を行い必要な支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き相談者のニーズ把握に努め、適切な関係機関と連携し幅広い相談分野に対応できるように専門職員間の連携・スキルアップを行ってほしい。
	【権利擁護】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や関係機関からの相談に対して、行政等の対応の説明に加え、相談内容に応じて、司法書士や行政書士、弁護士等の専門職種や区社会福祉協議会あんしんセンター、法テラスについて案内し対応した。成年後見申立てが必要なケースについては、区と連携して段取りを進めて制度利用に至った。 ・高齢者虐待(疑い含む)について、状況把握や区との密な連携に努めるとともに、迅速なサービス調整を行い支援している。また、地域の集い等の場で、見守りの重要性等、地域における虐待防止の取り組みについて普及啓発に取り組んだ。 また、介護者支援について、自主活動化している「介護者のつどい」の課題部分を解決すべく、地域資源を活かした試みに取り組んだ。 ・地域で取り組む認知症支援の意義を十分に理解し、地域のキャラバンメイトと顔の見える関係を築き上げ、積極的な認知症サポーター養成講座の協働実施ができており、港北区全体の開催数にも大きく貢献している。また、サポーター養成講座等の場を活用し、港北区かえるネットの普及啓発にも力を入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、相談内容に応じて適切な関係機関につなぐとともに、成年後見申立てが必要なケースについて、区と連携しながら支援を行っていただきたい。 ・高齢者虐待について、引き続き迅速な連携・対応について取り組んでほしい。また、介護者支援について、より多くの介護者が参加し、抱える問題や悩みが共有されるよう取り組んでいただきたい。 ・認知症支援について、引き続き、積極的に地域ぐるみで普及啓発に取り組み、地域の認知症サポーターの輪を広げるとともに、更なるキャラバンメイトの発掘、活用、育成に取り組んでいただきたい。
	【介護予防ケアマネジメント】 <ul style="list-style-type: none"> ・基本チェックリストを積極的に実施し、二次予防対象者の把握・支援に努めていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次予防や介護予防の支援が必要な方には、自宅に引き込みがちなならないよう、地域のつながりや自立支援につながるような支援をお願いしたい。
	【包括的・継続的ケアマネジメント支援】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の民生委員とケアマネジャーの懇談会等積極的に企画開催し、地域の高齢者の状況や支援について話し合う機会は包括的・継続的ケアマネジメント支援を行う上で効果的である。 ・地域内小学校2校に対して、城郷地区見守りネットワーク構築事業で福祉講演会・認知症サポーター養成講座を開催し、高齢者の理解や自らができることを考える機会をもてるように支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の民生委員とケアマネジャー等と顔の見える関係づくり・情報交換の場の企画開催を今後もお願いしたい。 ・地域の幅広い年齢層にむけて高齢者の理解や誰もが住みやすい地域を考えられる機会の提供を今後も期待している。
	【多職種協働による地域包括支援ネットワーク】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議を3回、包括レベルケア会議1回を年度内に開催し、本人・家族、地域の方も交えて、医療・看護・福祉等さまざまな立場の参加者と連携の上、住み慣れた地域で安心して暮らせるような体制づくりについての検討を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議等を活用し、地域のさまざまな立場の方と地域資源・医療機関・福祉関係機関等と連携を図れるように取り組んでいただきたい。また、個別支援からみえてきた地域課題を検討し、地域づくりに向けた取り組みをお願いしたい。
地域活動交流センター 地域包括支援	【介護予防事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥山地区の元気づくりステーション「鳥山元気サロン」について、保健活動推進員・参加者が主体的に運営・活動できるように丁寧に支援を行っている。 ・地域活動交流部門と協働して地域内の企業等の見学を交えたウォーキングを開催し、男性や夫婦など新規に参加する住民も増え、交流・介護予防の啓発等を両部門の特徴を生かして積極的に取り組んでいる。 ・地域の自主活動団体に出向き、介護予防の普及啓発と活動支援に努めている。 ・地域内グループの交流会を区とともに開催し、グループ活動のモチベーション維持向上や地域内のつながりを支援している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2か所の元気づくりステーションの活動が定着・周知され、活動に興味をもち参加できるよう継続した支援をお願いしたい。 ・地域活動交流部門との連携により、さらに対象を広げ、新規の方が参加できるような介護予防事業を地域で展開されるようお願いしたい。 ・今後も介護予防に関心を持つ住民が増え、互いに支え合う風土づくりをさらに進め、新しい担い手発掘等を含め継続した支援の取り組みを期待している。

平成26年度 日吉本町地域ケアプラザ事業実績評価

	平成26年度について	平成27年度に向けて
地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急性がある相談に適切に対応していかれるよう、他機関、民生児童委員との連携強化に努めている。 ・様々な地域の会議へも4職種で連携し情報共有、地域への協力等を積極的に行い地域の信頼を構築している。 ・他機関、専門機関との連携により事業の継続と充実に繋がっている。 ・同じ地区を担当する下田地域ケアプラザとは地域課題や支援の方向性がしっかりと共有されており、適宜役割を分担しながら一体的に地域支援にあたっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、各職種の連携を強化しながら、相談者のニーズに合わせた柔軟な対応を心がけ、適切な支援につなげて頂きたい。 ・子育て世代の増加に伴い、子育ての幅広い相談の内容に対応していかれるよう、ニーズ把握に取り組んでいただきたい。 ・「ひっとプラン港北」次期計画策定にあたり、区、区社会福祉協議会と一体となって、引き続き地域の支援をお願いしたい。
地域活動交流部門	<p>【福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会、町内会と連携し、回覧、掲示、また、ブログ等で情報配信を行うなど、地域により広く情報が届くように工夫、努力している。 <p>【福祉保健活動団体等が活動する場の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き状況の有効な情報発信により、予約のスムーズさへと成果を上げている。 ・活動団体に新たな活動の場を提供するなどの意欲向上に繋がる働きかけを行っている。 <p>【自主企画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい関係において、卒会生の活動の場の確保として、グループが主体的な活動として運営していかれるよう検討、後方支援を丁寧に行っている。 ・子育て支援として講座を企画し地域の子育て世代の利用を促している。 <p>【ボランティアの育成及びコーディネート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生、中学生対象の福祉教育や高齢者の理解を深めるなどの事業を行い、将来の担い手、発掘、養成に取り組んでいる。 ・他の地域ケアプラザの地域交流部門と連携し、障害分野のボランティア育成に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、事業参加者の意見聴取により、ニーズに応じた自主企画事業を充実させ、また、活動団体と情報交換等を行うことにより、新たなボランティア発掘と育成に取り組んでいただきたい。

	平成26年度について	平成27年度に向けて
地域包括支援センター	【総合相談・支援】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケアプラザから遠い地域にも積極的に出向き、住民のニーズに応えるような出張講座や相談会を工夫して行い、地域の身近な相談機関としての役割の周知を図っている。 ・介護者教室において、介護者の興味、関心がある内容を工夫し企画、実施を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数が増加し、高齢者本人だけではなく家族を含めた他問題を抱えた複雑化したケースが多くなっているが、ケースの把握を早期に行い、関係機関と連携し柔軟に対応していただきたい。 ・地域のケアマネジャーが相談をしやすい関係をつくり、ケアマネジャーと密に連携し支援にあたっていただきたい。 ・専門職の知識・経験を活かし、多問題ケースの継続的なフォローに力を入れていただきたい。
	【権利擁護】 <ul style="list-style-type: none"> ・住民の関心のある遺言・相続といった内容で地域での出張講座や相談会を実施し、高齢者の権利擁護につながる取り組みを行っている。 ・認知症への理解を深めるため、地域の幅広い年代を対象とした認知症サポーター養成を積極的に実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待の対応については、高齢者本人だけではなく養護者支援の観点にも着目し、今後も支援を行っていただきたい。 ・成年後見に関する相談は、今後も増加していくことが想定されるが、支援が必要なケースを早期に把握し成年後見申し立てにつなげる等の支援を積極的に行って頂くとともに、地域の支援者に対しても成年後見制度の知識が深まるような取り組みを行っていただきたい。
	【介護予防ケアマネジメント】 <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防団体への普及啓発だけでなく、地域で出張相談会を多く行い、二次予防事業対象者の把握に積極的に取り組んでいる。 ・地区のインフォーマルサービスの知識が豊富で、多角的に対象者をとらえ、活用されていた。 ・多問題を抱えたケースが増加している中、住み慣れた地域で安心して自立した生活を継続できるという視点を大事にケアマネジメントを行っている。 ・積極的に外部研修に出向き、ケアマネジメントのスキルアップに努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、介護予防団体への後方支援を続けていただき、二次予防事業対象者の早期発見と早期対応に努めていただきたい。 ・地域ケアプラザから遠い地域への出張相談会を行うことは、対象者の発掘だけでなく、住民の自助意識を高めることにもつながるため、継続していただきたい。 ・インフォーマルサービスの活用に加え、多問題を抱えたケースへの対応についてもあらゆる機関との連携を活かし、個別性のあるケアマネジメントに努めていただきたい。
	【包括的・継続的ケアマネジメント支援】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域のケアマネジャーとの意見交換会や事例検討会を積極的に実施している。 ・地域ケアプラザにおける事業において、地域ケアプラザ協力医や地域の医療機関に協力を求めることで、連携した支援が行えるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のネットワークで把握した情報を積極的にケアマネジャーに伝達する工夫の検討をお願いしたい。 ・今後もケアマネジャー等からの相談に対応すると共に、積極的に働きかけをしていただき、支援者の知識の向上及び顔が見える関係性の強化を図っていただきたい。
	【多職種協働による地域包括支援ネットワーク】 <ul style="list-style-type: none"> ・個別ケース地域ケア会議は2回実施した。ケースに関わる支援者だけではなく、地域で活動される専門職や関係者が参加することで、地域で抱える課題を話し合う有意義な場となった。地域ケア会議の準備段階から、地域のケアマネジャーと事例を検討したり、地域住民や関係機関からインタビューを行う等、個別ケースの課題の抽出を入念に行う事で、大変意義のある会議となった。 ・包括レベルの地域ケア会議においては、日吉地区が2つのケアプラザ圏域にまたがっていることから、2ケアプラザ合同で1回開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議をきっかけに、地域の活動や他のケースでも連携していけるような関係を作っていただきたい。 ・まだ地域ケア会議に参加していない専門職を呼び、個別支援の充実、参加者の資質向上、関係職種との連携に取り組んでいただきたい。 ・包括レベルの地域ケア会議では、地区特性の共有や課題の抽出を参加者と共に行い、課題に向けた連携、協働の準備と調整を行っていただきたい。
地域活動交流・地域包括支援センター	【介護予防事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・一般住民向けの介護予防教室では、地域交流コーディネーターとも協力し、普及啓発に力を入れていた。地域に介護予防の必要性が浸透し、住民の行動変容を起こすことができた。 ・地域で活動している介護予防団体に対してや、毎月の参加や講師の派遣など、健康の維持・増進などの普及・啓発に取り組んでいた。 ・介護予防団体のボランティア不足に着目し、ボランティアの育成や、フォローアップ研修を行っている。 ・元気づくりステーションは自主活動期となったが、継続して積極的に参加し後方支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般住民や介護予防団体に対しての介護予防の普及・啓発は今後も継続して行っていただきたい。 ・引き続き、地域交流コーディネーターと協力して事業の展開を行っていただきたい。 ・ボランティアの育成やフォローアップ研修など、地域の担い手の充実を図るため、今後も区と協働で取り組んでいただきたい。 ・元気づくりステーションの支援に関しては、今後も区と連携し、自主的な活動へ発展していくよう、後方支援をしていただきたい。

平成26年度 新羽地域ケアプラザ事業実績評価

	平成26年度について	平成27年度に向けて
地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の開設に伴い、体制の整備と地域への周知に熱心に取り組んでいた。開設前からの地域との関係性を保持し、スムーズに受け入れられている。 ・地域包括支援センター職員と地域活動交流コーディネーターが連携し、事業の企画や運営に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民及び地域に存在する様々な組織や機関と関係を深めていき、地域のパイプ役として、人的交流を通して地域全体のネットワークを構築していただきたい。 ・地域に身近な相談窓口として地域ケアプラザの周知に努めるとともに、地域包括支援センターと地域活動交流部門が連携して、地域課題の把握とその解決に向けた取り組みをしていっていただきたい。 ・「ひとつプラン港北」次期計画策定にあたり、区、区社協と一体となって引き続き地域の支援をお願いしたい。
地域活動交流部門	【福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動団体等との関係を深めながら地域情報の把握に努めていることがうかがわれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケアプラザに馴染みのない住民に向けた周知方法を工夫するとともに、人材の発掘や地域活動の活性化につながるような事業展開を期待する。
	【福祉保健活動団体等が活動する場の提供】 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな活動拠点として、利用する団体や人材が交流するきっかけにつながるような工夫がみられる。 	
	【自主企画事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・併設コミュニティハウスも含めた多様な利用団体や人材と連携し、地域に密着した事業実施を行う努力が感じられる。 ・新施設ではあるが、地域の人材や団体と連携して子育て支援の取り組み(子育てサロン、赤ちゃん教室など)に積極的に取り組んでいる。 	
	【ボランティアの育成及びコーディネート】 <ul style="list-style-type: none"> ・今後の人材育成への取組に向け、施設利用者との関係構築に努めている。 ・他の地域ケアプラザの地域交流部門と連携し、障害分野のボランティア育成に取り組んでいる。 	

	平成26年度について	平成27年度に向けて
地域包括支援センター	【総合相談・支援】 <ul style="list-style-type: none"> 交通の便が良い立地にあり、開所当初から多くの人が相談に訪れ、職員も丁寧に対応している。また、地域ケアプラザエリアに市営の高齢者住宅があり、同住宅の相談員や居住者からの相談には適宜対応している。 地域包括支援センターの相談窓口機能を広く周知するために、チラシを作成し、様々な場所で積極的に配布している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の会合等には可能な限り出席し、そこで得た情報を所内外の会議で共有し、多職種でアセスメントすると共に、方針の共有・役割分担を確認の上で、より迅速な対応を行っていただきたい。 交通の便が良いという立地の影響もあり、問題が深刻化する前の段階で相談に繋がるケースが見受けられる。その機会を活かし、問題の深刻化を防ぐと共に、早期解決を図るように引き続き努めていただきたい。
	【権利擁護】 <ul style="list-style-type: none"> 認知症や成年後見制度に関する講座及び行政書士による無料相談会等を開催している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の会議や、地域ケアプラザその他の場所で開催する高齢者対象の教室に参加するなど、あらゆる機会を活用し、権利擁護や成年後見制度の普及啓発を行っていただきたい。また、虐待に至らないよう介護者支援の講座や集い、認知症について地域の理解を促す啓発活動(認知症サポーター養成講座等)を開催していただきたい。 高齢者専用住宅の住民をはじめとした比較的新しい住民層と古くから住んでいる住民層とがお互いに関わる機会をもち、お互いの理解を深めることで、地域全体で高齢者の権利擁護を推進できる環境の整備に取り組んでいただきたい。
	【介護予防ケアマネジメント】 <ul style="list-style-type: none"> 二次予防対象者については、民生委員児童委員協議会の会合に参加した時の民生委員からの情報や、介護予防教室「コトレ新羽」でチェックリストを行い対象者を把握していた。予防プランを扱うケアマネジャーとも連携はとれている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も高齢者が参加する事業(老人会等)などで対象者を把握し、地域ケアプラザ事業やその他の高齢者向け地域活動に繋げてほしい。訪問型介護予防事業の活用を推進してほしい。
	【包括的・継続的ケアマネジメント支援】 <ul style="list-style-type: none"> 地域ケアプラザ協力医とケアマネジャーとの学習会及び交流会を開催し、ケアマネジャーの支援を行った。地域の会合に参加する事により、地域の情報の収集及び地域ケアプラザの周知を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のネットワークで把握した情報を積極的にケアマネジャーに伝達する工夫の検討をお願いしたい。 今後もケアマネジャー等からの相談に対応するとともに、積極的に働きかけをしていただき、支援者の知識の向上及び顔が見える関係性の強化を図っていただきたい。
	【多職種協働による地域包括支援ネットワーク】 <ul style="list-style-type: none"> 2月に個別ケース地域ケア会議を開催。地域住民、多職種でケース検討することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後は個別の地域ケア会議の経験を積むと共にその振り返りを行い、地域の課題を明確にし、包括レベルの地域ケア会議へと繋げてほしい。また、包括レベルでは地域の課題の解決になるよう、実行可能な具体的取り組みまで検討してほしい。
地域活動交流・地域包括支援センター	【介護予防事業】 <ul style="list-style-type: none"> 介護予防教室「コトレ新羽」を開催し高齢者の介護予防に取り組む他、介護予防に関連する自主グループへの支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域ケアプラザ内で行われている地域交流事業やコミュニティハウス事業とも連携し、介護予防の必要性を周知してほしい。 今後も包括主催の介護予防教室を開催し、自主グループ化や元気づくりステーションなど活動を継続できるグループへと発展させてほしい。